

3 1 - 2 (8)



Kazuya Nomura <webpbi@gmail.com>

【公文書不存在通知】R1年7月1日のJRTとの対応を記録した文書

Kazuya Nomura <webpbi@gmail.com>

2023年9月1日 11:19

To: 総務係 <soumuka@town.rankoshi.lg.jp>

坂野殿

「～文字化して対応いただいていることに感謝します」
「～言った言わないの感情的な口論になっていないことはいい方向に向かっていると感じます。」
これら坂野さんの言葉に、私はあきれています。その理由は、以下のとおり。

8月31日に私が送ったメールに記した時系列を加筆修正しました。

- 8月22日（電話）において、坂野さんは、JRT対応記録を録っていないことの正当性を求める私の質問に答えることができず、町長または副町長を同席させることに同意しています。なお、通話記録は全文を添付します。
- 8月23日（メール）、坂野さんは「町長・副町長とも出張予定のため、坂野、今野、水上で対応いたします。」と記した。
- 8月23日（電話）、私は町長と副町長が出張から戻った後の日を設定するよう求めた。
- 8月24日（メール）、坂野さんは、「面会への回答」という別タイトルで、メールを送った。その内容は、それまでの経緯を付すことなく、一転して、次の内容が主文となっています。
「町長・副町長への面会ですが、弁護士に相談したところ「係争中に相手方と会うのは控えるべき」とのことでした。
聞きたい内容については、係争中の内容にも係わることなので、会って話するのは控えたいと思います。」
- 8月30日（メール）、私は、坂野さんの「面会（依頼）」が不適切であり、かつ、前日までのやりとりから内容が一転していることを指摘した。
- 8月30日（メール）、坂野さんは、私の指摘に何一つ答えることなく、自分自身が私にした質問の回答を求めた。
※坂野さんの行為は、他人（私）の指摘は無視し、自分の質問には回答を強要しているようにしか見えません。
- 8月31日（メール）、私は、これまでの経緯を時系列にまとめ、坂野さんが論点をずらしていることを指摘した。
それに際して、私は、過去の会話記録を文字おこしすることを余儀なくされた。
- 8月31日（メール）、坂野さんは、他人（私）の指摘は無視し、自分の質問に答えることを繰り返した。
- 8月31日（メール）、私は、坂野さんの質問のひとつに答えた。
- 9月1日（メール）、坂野さんは、ご自分の質問に答えることを繰り返した。

私は、8月24日のメールで、「面会」という言葉で過去の論点から一転させた内容を送り付けことに対し、過去の論点に回帰させるために多大な労力を余儀なくされました。一方、坂野さんのメールには、私に手間をかけさせたことを真摯に受け止めた形跡はありません。

私は、坂野さんが自分がしたことへの反省一つないまま、ご自分の質問への回答をしつこく求めることを極めて不快に感じています。

これ以上、しつこく求めるのはご遠慮ください。そして、坂野さんが、粛々と開示のための手続きをすることを求めます。

野村

2023年9月1日(金) 10:20 総務係 <soumuka@town.rankoshi.lg.jp>:

[元のメッセージ非表示]